

変革を超えて、飛躍へ

～シン・バイオマスとフォレスト・シップ構想が切り拓く、次の10年～

新年あけましておめでとうございます。

旧年中におきましては、バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社をはじめとする当社グループ各事業の事業活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年は、当社にとって変革が確かな実装へと結実し始めた一年でした。決して平坦な年ではありませんでしたが、エネルギーと林業という日本の基盤産業に真正面から向き合い続けた結果、着実な前進を実感できた一年であったと考えています。

3月には、完全NON-FIT型・国産材小規模バイオマス発電所である「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所」が商業運転を開始しました。これは、国民負担に依存せず、地域資源を活かしてエネルギーを生み出すという当社の理念を、現実の事業として具現化した大きな節目となりました。

林業分野においても、放置林の再生、森林の集約化、地権者・行政との協働を通じ、林野庁「新しい林業経営モデル」の完遂、NEDO「エネルギーの森」事業の進展、さらには、いなべ市における森林整備事業の拡張など、着実な成果を積み重ねることができました。短期的な成果が見えにくい林業分野ではありますが、現場と地域に真摯に向き合い続けてきた姿勢が、具体的な評価と収益という形で現れ始めた一年でもありました。

当社は2015年12月の創業以来、バイオマスによる林業イノベーション型地方創生エネルギー事業の推進を通じ、資源循環型社会の創造を目指すことを経営理念とし、一貫して歩んでまいりました。そして当社が10周年を迎えた昨年においては、その歩みをさらに進化させ、シン・バイオマス®エネルギー事業と林業を融合した地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造という事業コンセプトへと拡張・発展させる節目の年ともなりました。

かかる状況下、お陰さまをもちまして、社内・社外関係者の皆さまの温かいご支援とご鞭撻により、当社は11年目を迎えることができました。

2025年の干支は「蛇」。脱皮を重ねながら成長する象徴とされますが、当社にとってもこの一年は、これまでの殻を一つ脱ぎ捨て、次なる成長段階へと踏み出すための変革の年であったと受け止めています。

そして来たる2026年は「馬」。力強く大地を蹴り、前へ前へと進む存在です。2026年は、これまでに築いた基盤の上で、事業を一段加速させ、飛躍へとつなげる一年にしていきたいと考えています。

本年は、Forest Ship（フォレスト・シップ）構想の社会実装を本格化させるとともに、資源循環事業部を中心とした燃焼副産物のアップサイクル事業を本格的に展開してまいります。

これにより、シン・バイオマス®エネルギー事業・森林事業・資源循環事業が三位一体となった、進化系の垂直統合型ビジネスモデルを、より明確な形で社会に提示していく所存です。

エネルギー、森林、地域経済を取り巻く環境は、今後も大きな変化と可能性を内包しています。
だからこそ、変化を機会と捉え、持続可能な価値創造に挑み続ける姿勢が、
これまで以上に重要になるとと考えています。

2026年も、日々の現実から謙虚に学び続けながら、
シン・バイオマス®とフォレスト・シップ構想が切り拓く、次の10年に向けて、
社内・関係者一同、一丸となって、
ソーシャルグッドで持続可能な地域社会を実現するべく活動してまいります。

本年も変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

～2026年初にあたって～
バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社
代表取締役社長 北角 強 拝



森に根を張り、光をつかみ、地域の未来を創り出す

This image was generated by ChatGPT-5.2.

この一枚のビジュアルは、私たちが目指す次の時代の姿を象徴しています。
深く根を張る森は、林業・地域・資源循環という、私たちの事業の揺るぎない土台そのものであり、
長い時間をかけて育まれてきた現場と地域の積み重ねそのものです。
その森に差し込む夜明けの光は、変革の段階を越え、実装と成長へと踏み出した現在地を示しています。
試行錯誤の時代を経て、確かな手応えとともに新しい一年が始まる瞬間です。
そして、夜明けの光を背に大地を蹴って跳ねる馬は、2026年から始まる飛躍と加速の象徴と言え、
創業以来、蓄えてきた力を解き放ち、次の10年へと果敢に踏み出す意志を表しています。
このビジュアルは、今までの土台を大切にしながら、変革を超えて、飛躍し、未来へ跳ぶ、
シン・バイオマス®とフォレスト・シップ構想が描く、私たちの進化の方向性そのものです。

変革を超えて、飛躍へ

～シン・バイオマス®とフォレスト・シップ構想が切り拓く、次の10年～

「フォレスト・シップ構想」の社会実装を本格化

こ今まで抱いた夢想の上で、事業を一段と加速させます。



燃焼副産物のアップサイクル事業を本格展開

資源循環事業部を中心とした新たな取り組みを製造します。



三位一体のビジネスモデルを社会へ提示

エネルギー・森林・資源循環の3事業を垂直統合した進化系モデルを建立します。



飛躍の年【馬】 ～大地を駆ける～



「パワーエイド三重シン・バイオマス®松阪発電所」が商業運転を開始



国民負担に拵存しないNON-FIT型発電所という理念を長現化しました。

林業分野で着実な成果を造成



放置林再生やNEDO「エネルギーの森」事業が造展し、収益化が始まりました。

事業コンセプトの拡張・発展



エネルギー事業と林業を融合した、地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造へ。

2025年:変革の年【蛇】～成長への脱皮～